

クラス	TU308	担当教員	西島 千尋
テーマ	音楽・音楽教育・音楽療法を学ぶ		
著書・論文 研究課題等	(著書)『クラシック音楽は、なぜ(鑑賞)されるのか—近代日本と西洋芸術の受容』(2010年、新曜社) (翻訳)『ミュージック・アズ・ソーシャルライフ—歌い踊ることをめぐる政治』(2015年、水声社) 『ミュージッキング—音楽は行為である』(2011年、水声社) (研究課題)日本の音楽文化、日本の音楽教育史、日本の音楽文化史、音楽療法		
ゼミナール概要			
キーワード：音楽教育、音楽と社会、音楽文化、音楽表現、音楽の歴史			
目的、内容、方法、授業計画等：			
【目的】			
<p>①本ゼミの目的は、音楽実践が得意な保育士・教員を目指すことです。音楽は、社会問題や地域、歴史などさまざまな要因から成り立っています。そして音楽実践にも、教育政策の課題、社会問題、社会変革、アイデンティティなど、多様な観点があります。そこで、音楽を教育・社会・文化などの観点から考え、現代の音楽実践や音楽教育に必要な考え方を身につけることを目指します。</p> <p>②また、近年、日本でも音楽療法が広まりつつあり、子育て支援や特別支援学校などでも音楽療法の試みがなされるようになりました。音楽療法は現代の音楽教育の重要な一側面となっています。そこで、音楽療法について知り、学ぶことを目指します。</p> <p>③音楽実践は、演奏だけで成り立つものではありません。演奏の場を企画し、運営することこそ、保育や教育の現場では大切になります。企画力・運営力を身につけることを目指します。</p>			
【方法】			
<ul style="list-style-type: none"> ・現在の音楽研究の動向を把握するために、基本的な文献を読む。 ・文献の内容について論じる。 ・各自がテーマと研究方法を設定し、卒業研究や卒業制作(卒業演奏)に取り組む。 ・コンサートなどを企画し、実施する。 			
【内容】			
<p>*卒業研究のための学び。</p> <p>*音楽実践：学内や学外での音楽実践。</p> <p style="padding-left: 2em;">2015年 介護老人保健施設 LA・LA・LA (コンサート)</p> <p style="padding-left: 2em;">2014年 奥田保育園 (手作り楽器ワークショップ)</p> <p style="padding-left: 2em;">2013年 河和児童館 (音楽人形劇)</p>			
担当教員からのメッセージ			
<p>音楽をさまざまな角度からとらえられるゼミにしたいと思っています。</p> <p>そのために、論文や文献を読んだり、発表したり、考えたり、演奏をするだけでなく、企画したり運営したり、という内容を行います。</p> <p>演奏は出来なくても構いませんが、毎年、全員が企画や運営に積極的に関わります。</p> <p>また、西島は昨年からは、音楽療法を学び始めています。</p> <p>実践したり、見学に行ったり、療法士さんにインタビューさせていただいたりしています。</p> <p>音楽療法と言っても、対象者さんもさまざま、手法もさまざま、介護保険の問題もさまざまです。</p> <p>私自身まだ勉強中の身ですので、こうした事柄に関心をもって、一緒に学んでくださる方を歓迎します。</p>			